

C.S.マソス (元 神者 アメリカ合 国)

:

明:これはIslamReligion.comを通してイスラ ムに 依した14 の少年の です。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: C.S.マソス

日5 Dec 2009

集日 05 Dec 2009

私の名前はC.S.マソスです。私は1992年8月1日、ペンシルバニアの非宗教的な家庭に生まれました。私の母はかつてキリスト教徒で、子供の 私はクエ カ 教会へ行っていました。母は教会のキャンプへ行き、そこで何人かの司祭がハルマゲドンについての 教を延々と行ったため宗教におののいてしまいました。母はそれ以 、残りの人生を 宗教で ごしました。母は私のように 神 者ではなく不可知 者でした。私は子供としては くほど 理的で、神が存在することは不可能だと理由付けていました。しかしその一方で私は宗教などを余り にしておらず、むしろ恐 にのめりこんでいて、恐 のことについてもっと学びたいと思っていました。T-

REXの体重は7トンであるとか、トリケラトプスの群れが子供たちを になって守り肉食恐 と っただとか、ヴェロセラプタ は 速75マイルで走れたなどといったことを未だに えています。

私の古生物学への情 が止まないことで、私は周りから嘲笑されました。そしてそれは私が空想上の などに 味を持ち始めると、 分弱まりました。私はいつも“感情の ”の中に じこもっていて、本当に言いたいことを の中に していたので、嘲りはそんなに影 しませんでした。私は人を信じていませんでしたし、 の世界より自分の想像の方が好き だったので、 す はたいてい正直で しく し、また多くを りませんでした。9.11のテロの で さえ、私は余り しませんでしたし、特に行 もしませんでした。 に怖くもありませんで

しかし、ムスリムとはある の民族のことくらいにしか思っていないでしたが、ただイラク 争で の人がアブ グライブ刑 所でレイプされたニュースのことだけは がかりでした。しかしそれでさえ、何度もニュースで り返されるようになると 陶しく感じるようになりました。私は自分の から出た (5年生)、宗教や政治について人々と言い争ったりしましたが、その 唯一 えていた宗教であるキリスト教には 善があると信じていました。

13 になった 、私は非常な侮辱を受け、そしてそれをまともにとらえてしまいました。私は になり、成 も合格すれすれにまで下がり、全てに する 味を失いました。私には宗教が必要でした。私は特にこれといって一つのものを探してはいませんでした、ただ唯一神を信じていて、そして自分の苦い から自分の を神のせいにしていました。私は政治について更に目を向けるようになり、宗教については忘れて始めました。そして第二次世界大 のヒトラ についての本を み始めました。私は第二次世界大 、ナチズム、そして共 主 に大 な 味を抱きました。共 主 は失 した空 であるという にずっと教わってきましたが、 争の反 のことも学んでみたいと思いました。私は共 主 者のマニフェストやウィキペディアの 事 を み、そしてマルクス主 の に参加しました。私は何か自由で平等かつ した社会のために っているような自分自身を 出しました。

私はこの に没 し、あるグル プに参加しました。その名には言及しません。ただ人々にねられた には、自分は共 主 者であると言いました。ああ、しかしそうなる前に、共 主 者ほどからかわれる存在など思い浮かびませんでした。そのことについて したくはありません。これは本当に ぎることでした。私は クラスメ トからのいじめに夕食の席で泣きくずれました。私にはただ宗教が必要だったのです。私はキリスト教を しましたが、疲れ果て去りました。そこには矛盾や分派、 善などが多 ぎました。

私は周りを何度も まわし、ギリシャ神 からキリスト教まで全てに目を通しました。私は 争の偏 などを考 し、またそのような宗教に うことによって かに 害される可能性もあると踏み、イスラ ムのことは一番 回しにしようと めました。私は全てを め、自分に “ 最 はイスラ ムを さないといけない。クルア ンを持ってきて んでみよう。もしかしたらそれが探していたものなのかもしれないし” と言い かせました。そしてインタ ネットのサイトからクルア ンを注文し、5日 にそれを受け取りました。それは深 色で、 に思え

るほど本当に い でした。とても美しい皮の 本に金印がありました。しかし み始めてみると、そこにはテレビで るようなことは何も 当たりませんでした。そこには唯一神しかなく、かれ以外崇 するものはないということを出しました。私はそれを目にし、この宗教に入信したいと思いました。私はインタ ネットでどのように祈るかを べようとしてwww.islamreligion.com

を つけ、そこでどのようにイスラ ムに改宗しムスリムになるかという 目をつけました。礼 の仕方は のためにとメモしましたが、まず改宗することが必要でした。神への服が必要でした。今です。私は信仰告白を つけ きとめました。それから信仰告白をし、ムスリムとなりました。その すぐ私の心 からは痛みが取り除かれ、幸福を感じました。神は私によくして下さり、私は 日5回の礼 をするようになりました。しかしながら 争の偏 の影、人々の偏狭さや差 など故に、私は自分の宗教を秘密で行わなければなりません。私は朝、正午、夕暮れ、夜そして夜の11 か12 に礼 をします。 出来るときは 金曜日、 して近くのモスクまで行きます。私の母でさえ私がムスリムであることを知りません。その が出来た、もしくは成人して家を出たり、大学へ 学したりした に母に打ち明ける が来るでしょう。私は秘密に宗教を行っている も、神に する不信を避け、かつ良いムスリムになるために助けて下さるよう祈っています。もし私の母がこれを むことがあったりしたら、 めつける前に私の宗教を理解して下さい。私の宗教をあなたのあざけりやジョ クなどによる害 なしに、平 なままにさせて下さい。私は多分こ こ一 ほどイスラ ムを 践しています。 の感 もなくなっていました。

ムスリムでない方がこれを んでおられるのであれば、クルア ンを み、ムスリムになるようお めします。あなたに平 があり、神のご加 がありますように。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/593>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。